

家庭数

保護者様

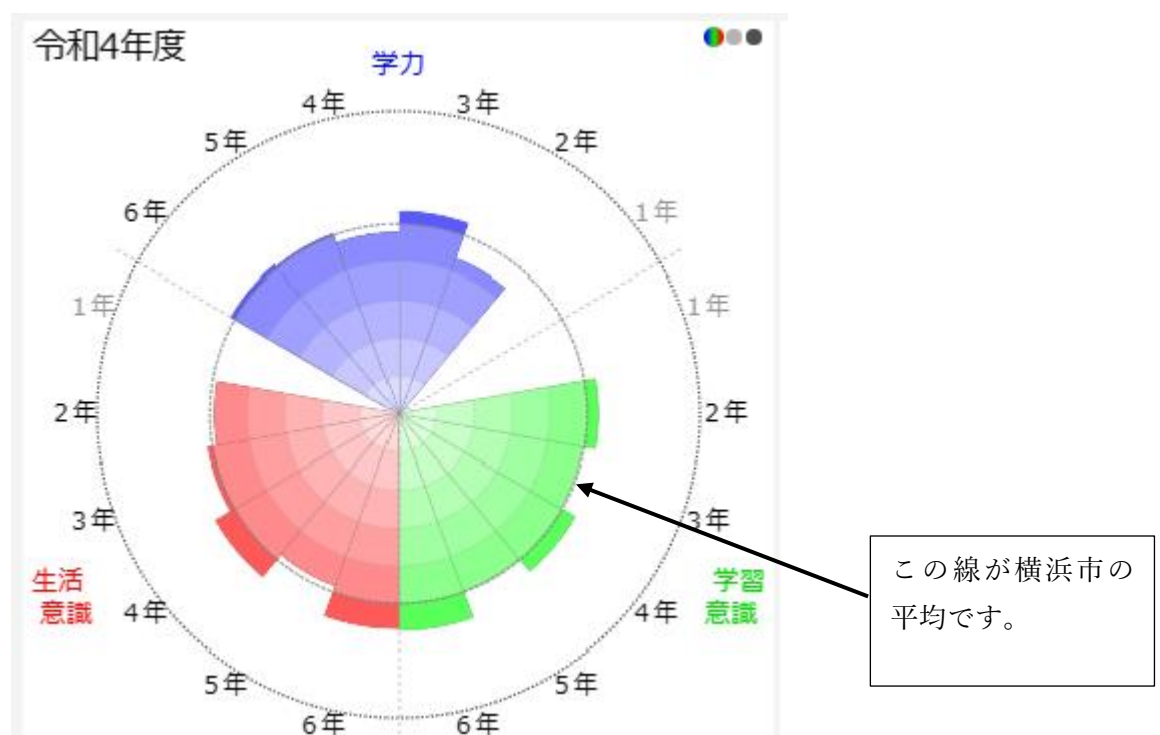
横浜市立東汲沢小学校

校長 丹羽 正昇

令和4年度 横浜市学力・学習状況調査についてのお知らせ

本年度4月に2年生から6年生を対象に実施しました横浜市学力・学習状況調査の調査結果がまとまりました。横浜市の調査結果の公表を受けて、東汲沢小学校においても教育の成果と課題の把握及び改善を図るために結果概要を報告いたします。

なお、今回の調査により測定できるのは、学力の一部であり、学校の教育活動の一側面に過ぎません。また、この調査は学校と学校や個人と個人を比較したり、集団の中の個人の順位を求めたりする目的のものではありません。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分にご理解いただきますようお願いいたします。またこの結果を学年毎に分析するとともに、児童の実態を踏まえ、今後の指導に生かしていきます。



令和4年の4月に実施しているため、学力調査の内容は前学年の内容です。生活意識については、3年生、4年生、6年生が市の平均を上回っています。また学習意識については、市の平均と同等か上回っています。特に2年生、4年生、6年生は市の平均を大きく上回っていることからどの学年も学習に対する意欲が高い児童が多いことが分かります。学力については、学年ごとにチャートグラフの結果が出ています。詳細については3月末までに東汲沢小学校のホームページに掲載しますのでご覧ください。

ここには、各教科の分析を載せていますが、本校では、特に国語科の情報活用能力の育成に力を入れていることから、参考までに国語科のチャートグラフを掲載します。

【学年】 ○特によいと考える教科と内容 ●指導・改善が必要と考える教科と内容

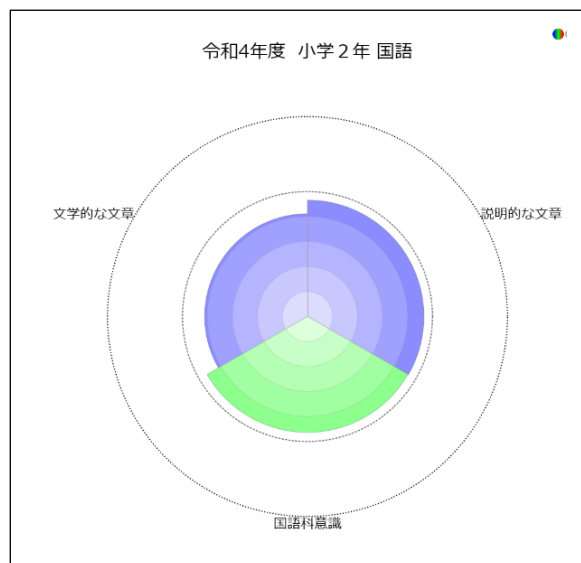
◇現2年生

○国語「説明的な文章」…文章の中の重要な語を考えて選び出すこと市の平均を上回っていた。また促音の表記を理解して使うことができています。

○算数「平面図形」…ものの位置を表すことができています。

●国語「文学的な文章」…登場人物の口調を具体的に想像することや身近なことを表す語句を使うことに課題がある。

●算数「空間図形、式」…加法の計算は8割の正答率だが、市の平均は下回っている。ものの形を機能的な特徴で捉えることに課題がある。

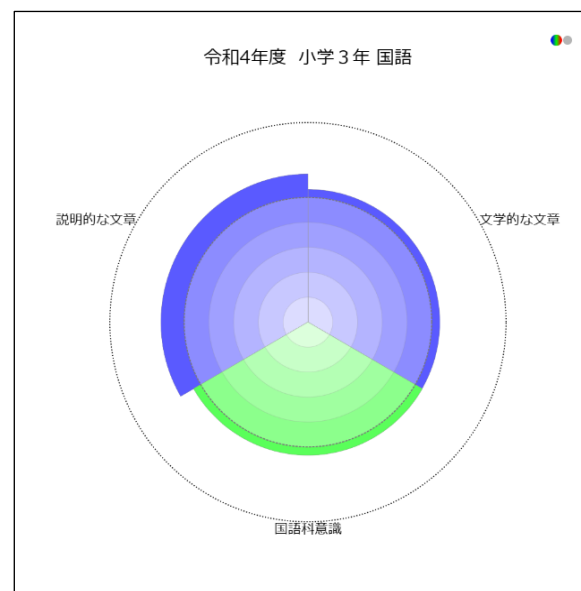


◇現3年生

○国語「説明的な文章、文学的な文章」…登場人物の会話を基に内容の大体を捉えたり、登場人物の口調を具体的に想像したりすることができています。文章の中の重要な語を考えて選び出すことができます。

○算数「空間図形、式」…減法の計算ができています。ものの形を機能的な特徴で捉えることができています。立体図形の構成要素の数を捉えることができています。

●算数「数、統計」…数では念頭操作を基に示された大きさを分数で表す力が市の平均と同等だが、正答率が3割程度だった。また統計では、資料を正しく整理する力が市の平均より低く課題である。



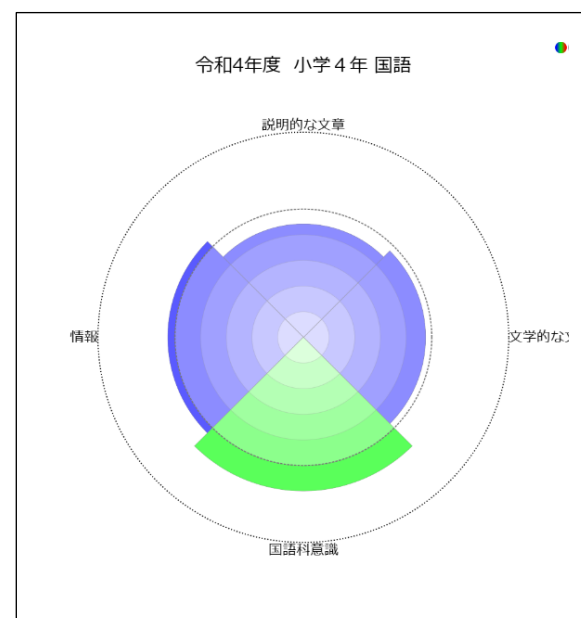
◇現4年生

○国語「情報」…写真や文などから理解したことに基づいて、自分の考えをもつことができています。

○理科「地球」…遮光板を正しく扱うことができています。地球は太陽によって暖められ、日なたと日陰では、地面の暖かさや湿り気に違いがあることを理解できています。

●算数「平面図形、式」…式が意味する場面を捉えることに課題がある。平面図形の分野では、基本図形の構成を捉えたり、異なる複数の構成要素を関連付けて捉えたりすることに課題がある。

●国語「説明的な文章」…考えとその事例との関係を捉えることに課題がある。



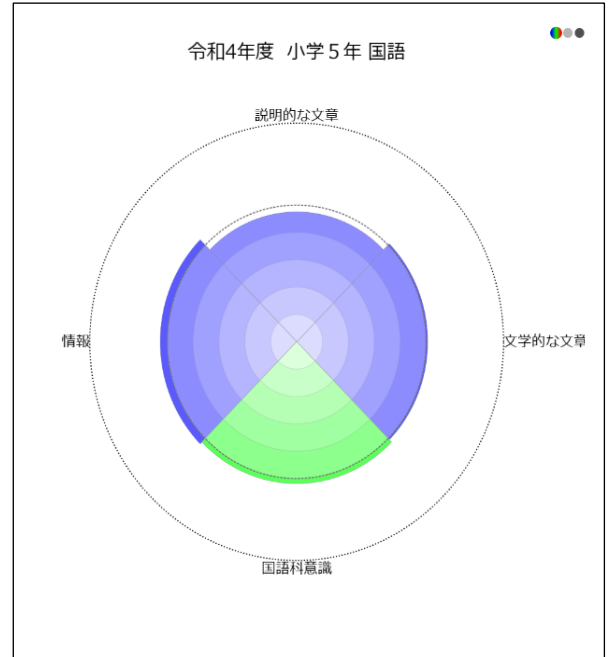
◇現5年生

○国語「情報」…絵や文などから理解したことに基づいて、自分の考えをもつことができている。

○算数「平面図形、数」…数を正しく表現できている。除法の計算ができる。式が意味する場面を捉えることができている。基本図形の構成要素を捉えることができたり、異なる複数の基本図形の構成要素を関連付けて捉えたりすることができる。

●国語「説明的な文章」…第4学年に配当されている漢字を使うことや、自分の言葉を用いて要約することに課題がある。

●理科「粒子」…水を冷やして氷にした時の温度変化を調べる過程において、温度計を正しく扱い、正確に記録するところに課題がある。



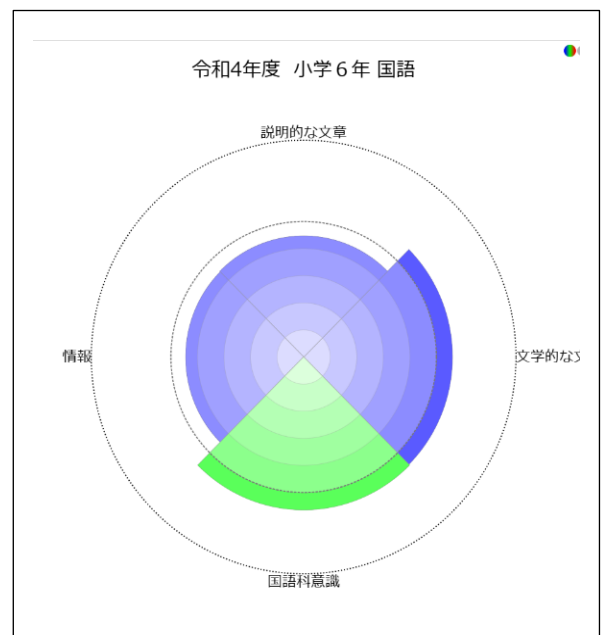
◇現6年生

○国語「文学的な文章」…前学年の配当されている漢字を使っている。登場人物の相互関係を捉えたり、複数の叙述を基に登場人物の行動を捉えたりすることができている。

○算数「式」「平面図形」…思考過程を適切に表す数直線を判断したり、基本図形を判別したりすることができている。

●国語「説明的な文章」「情報」…文章全体の構成を捉えて要旨を把握することや写真や文章などから理解したことに基づいて自分の考えをまとめることができる。

●理科「地球」…川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることへの理解に対して課題がある。



上の分析をもとに、各学年で今後の学習に生かしていきます。

【生活意識】 いくつかの項目を調査結果として抜粋して報告させていただきます。

〈自己意識〉

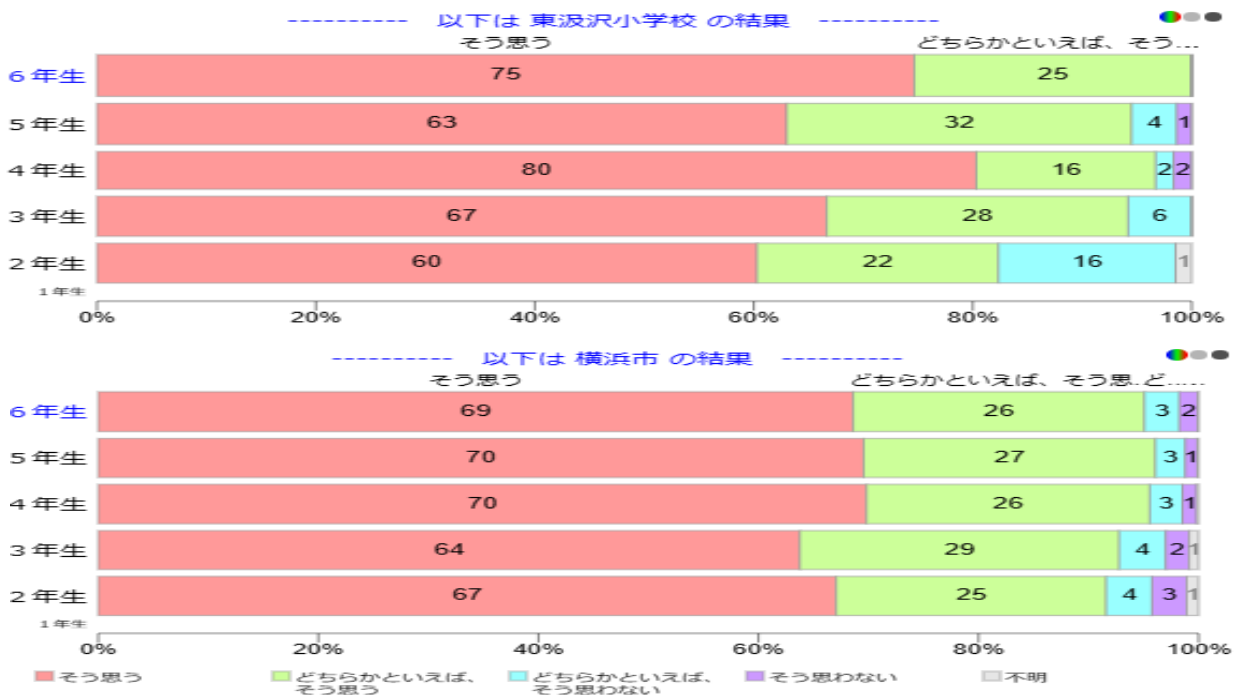
【いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか】

◇「いじめはどんな理由があってもいけないこと」について「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した児童が90%以上だった。特に高学年の意識が強く、ほとんどの学年で市の平均を上回っている。



【人のためになることをしたいと思いますか】

「人のためになること」について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している児童が80%を超えている。また4年生以上では、90%を超えている。

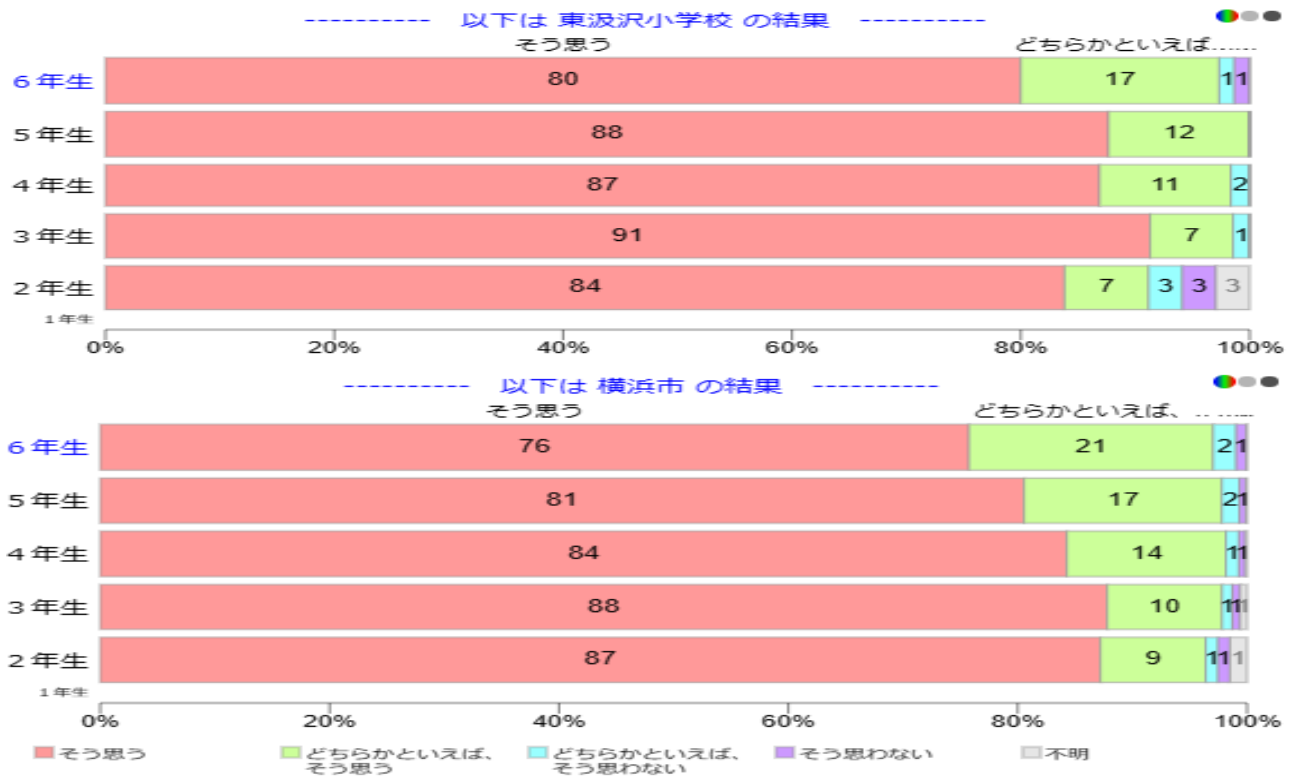


他の人を大切に思う児童が育っている。

〈規範意識〉

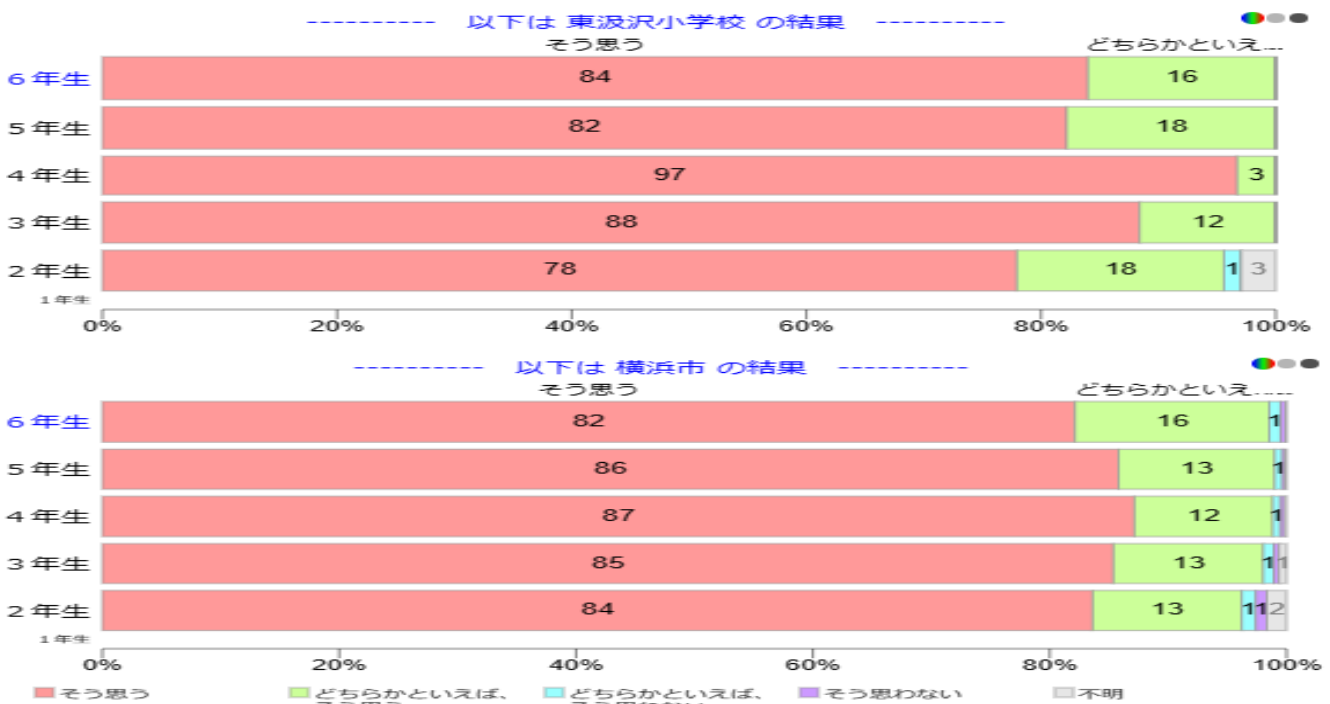
【学校や社会のきまりを守ることは大切だと思いますか】

「学校のきまり」について80%の児童が「そう思う」と回答し、市の平均を上回っている学年が多い。



【友達や家族との約束を守ることは大切だと思いますか】

「友達や家族との約束」については市の平均よりも高く「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせるとほぼ全員が約束を大切にしていることが分かる。

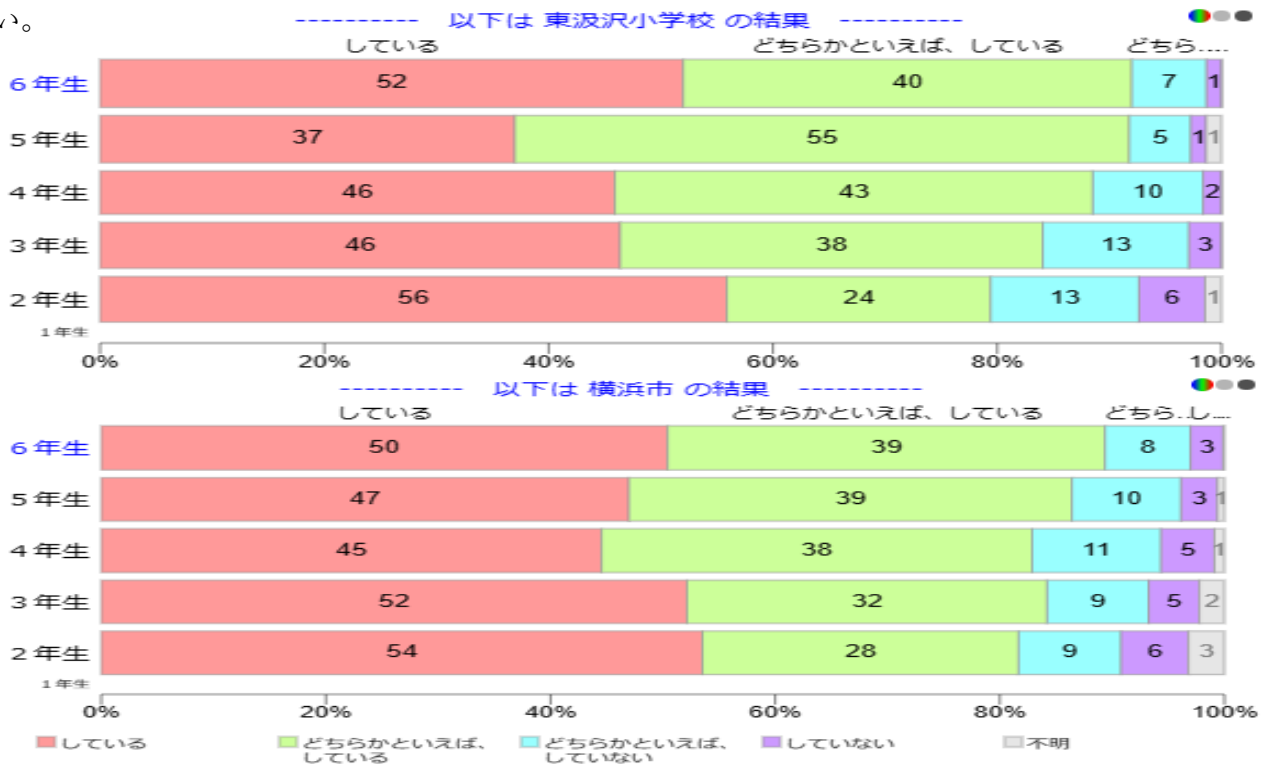


約束やルールを守って生活することを大切に思っている児童が多い。

〈情報活用能力〉

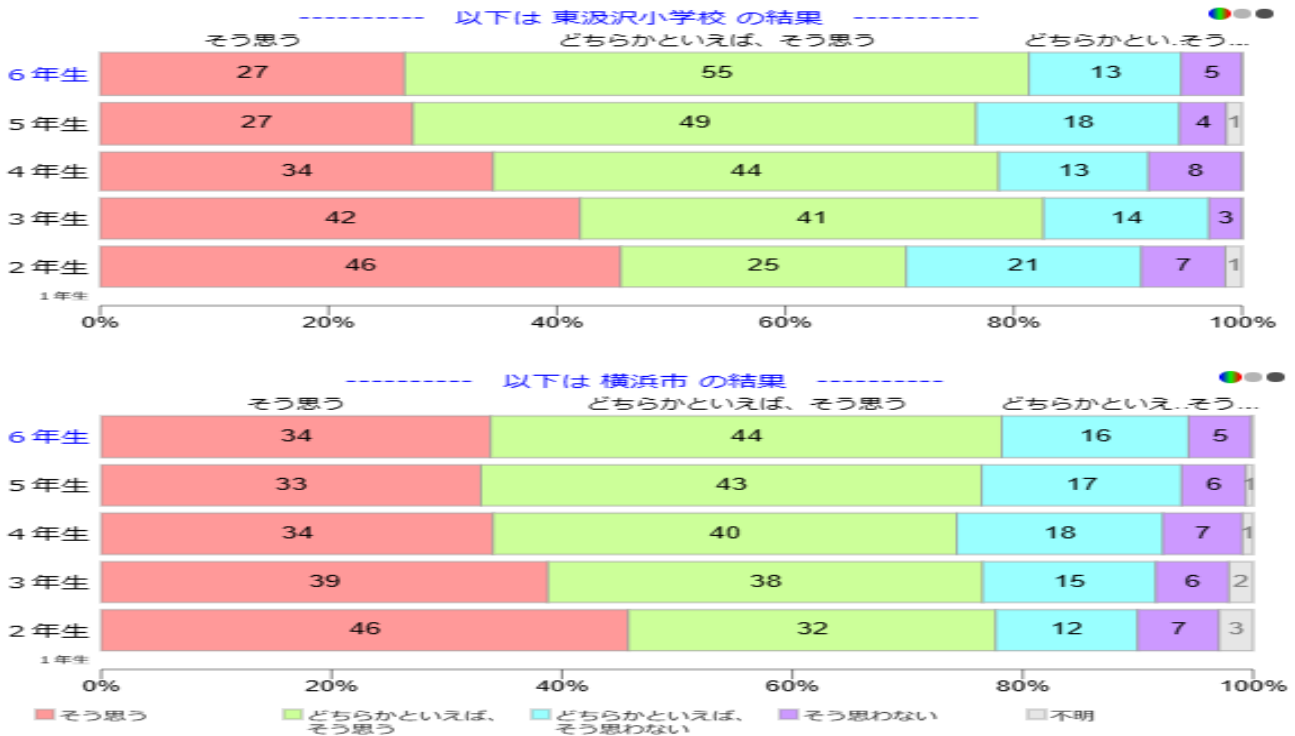
【課題の解決に当たっては、さまざまな情報の中から、必要なものを選ぶようにしている。】

「している」や「どちらかといえばしている」の回答が80%以上である。市の平均を上回っている学年が多い。



【自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりしている。】

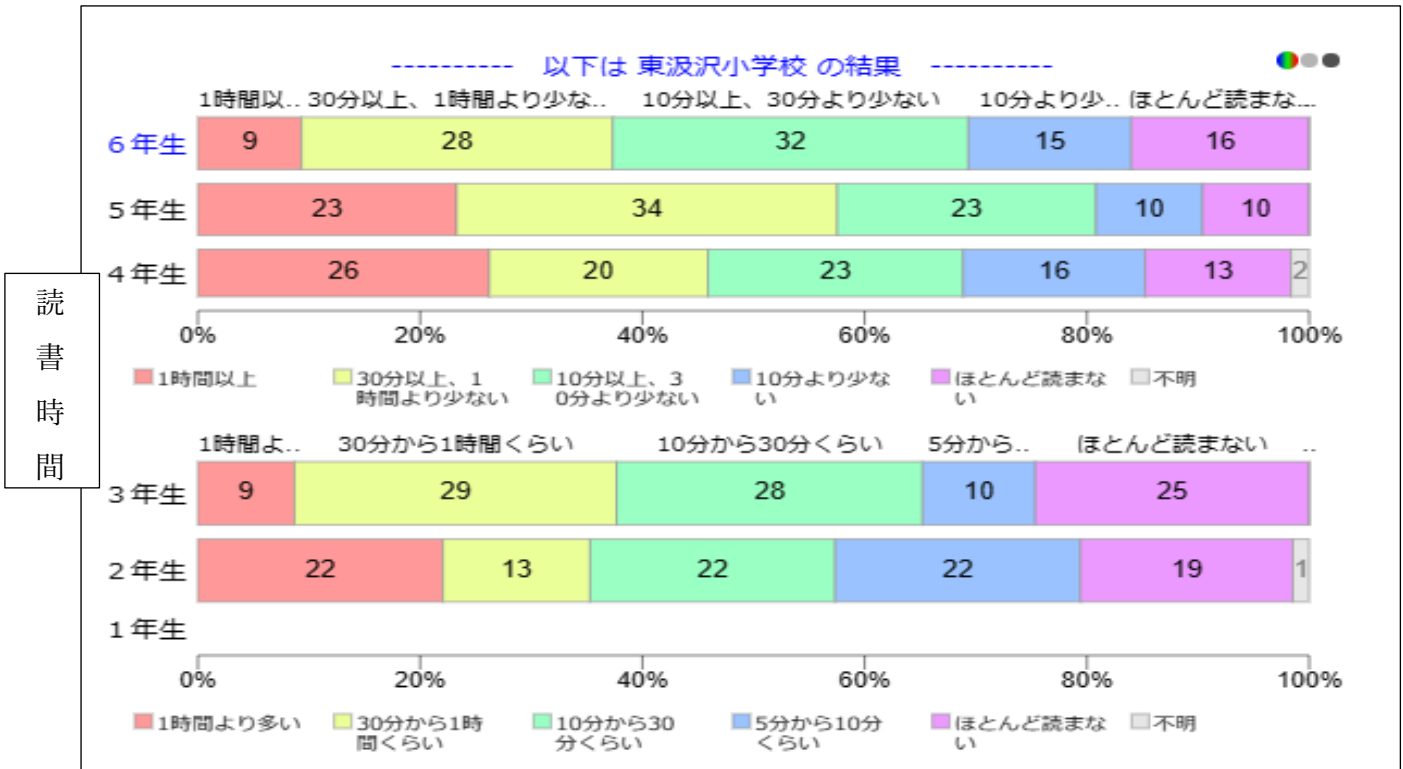
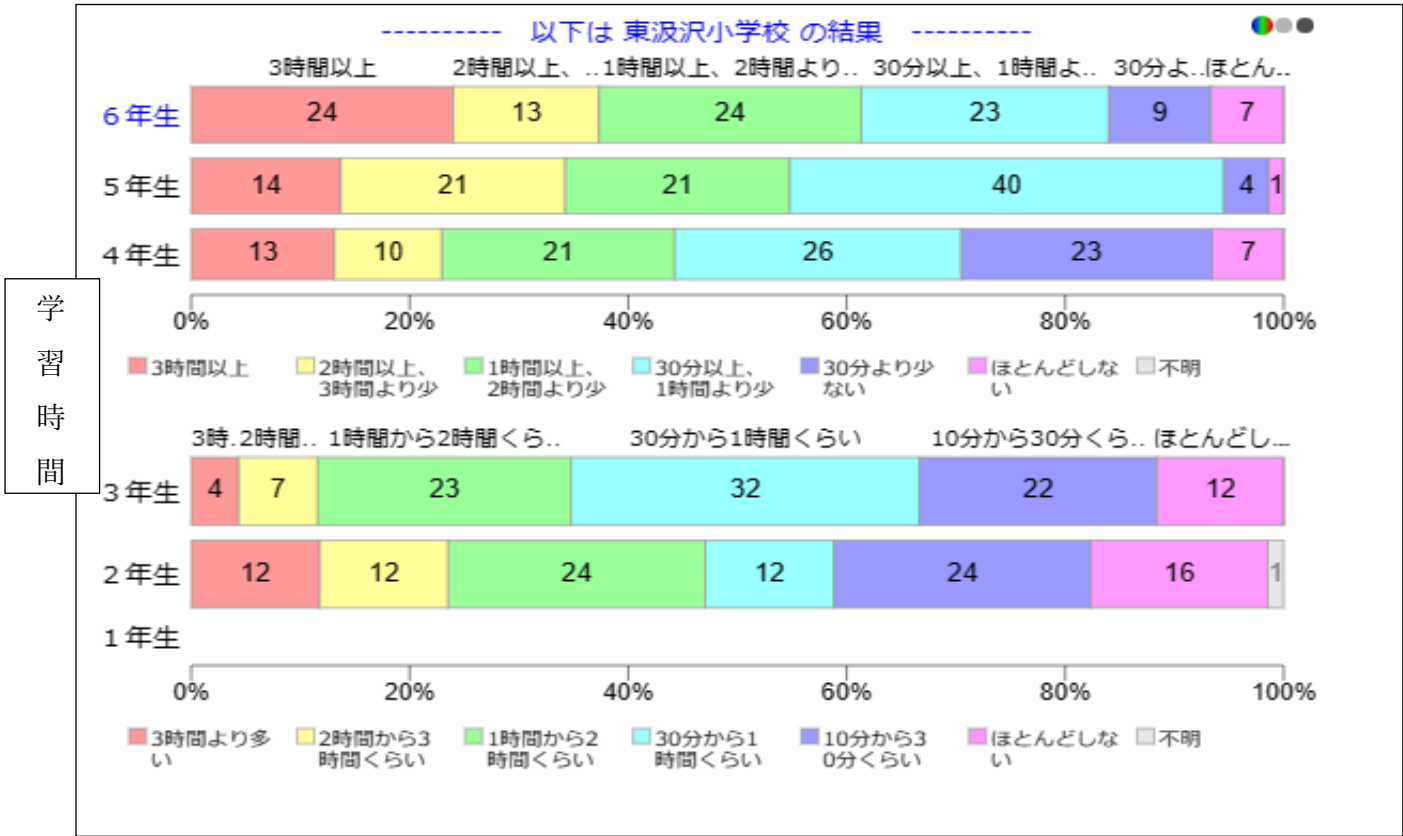
「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」の回答が70%以上である。市の平均を上回っている学年が多い。



情報活用能力の育成に力を入れてきた本校の児童たちは、自分たちで課題を見つけ、解決に向けて情報を集めたり、話し合ったりする力を意識し、活用しようとしている児童が多い。

〈校外生活〉

一日の学習時間では、学年が上がるごとに学習に取り組んでいる児童が増えている。学習時間も読書時間も多くの時間取り組んでいる児童とそうでない児童との差も大きい。



これらの調査結果を踏まえて、今後も学校と家庭や地域との連携を図りながら、児童の教育にあたっていきたいと考えます。ご協力よろしくお願いたします。